

卒業式

今年度の卒業式が、3月1日午後1時30分から、体育館で行われました。今年度は男子18名、女子21名の計39名が卒業しました。

学校長からは式辞で、「生涯に渡って学びを大切にしたい」、「出会いを大切に、感謝を忘れずに」、「自分の可能性を信じ、自分らしく生きよ」という、3つの話がありました。最後に、坂村真民さんの「念ずれば花開く」の詩をあげて、「逆境に負けない、しなやかで折れない心「レジリエンス」を自分の中に育み、自分の可能性を信じて欲しい」と結びました。

送辞では2年生の福田君が、「古座は人数が少ないが一人一人が輝くことができる。この言葉が印象的で僕は古座を受験した。この言葉どおりだと胸を張って言えるのは、先輩一人一人が輝いていたからだ。」であり、その伝統を最後まで受け継いでいきたいと述べてくれました。

答辞では3年生の谷口さんが、「言い出せばきりが無いほど、思い出がたくさん出てきました。何気ない日常でさえ今は大切な思い出です。」と話したあと、「二年後に古座校舎は、幕を閉じます。古座校舎がなくなってしまうのは悲しい事実」、「この校舎がなくなっても古座校舎への思いや記憶は消えません。それは、新しい串本古座高校として幕を開け、これから先もずっと受け継がれていくでしょう。」と、閉校舎への思いも語ってくれました。最後に、「私たちは、この先も、悩み、挫折することもあるでしょう。また高校に戻りたいと思う日もあるかもしれませんが。そんな時は、高校生活や高校での出会い、支えてくれた人たちの顔を思い出したいと思えます。それを糧に、しっかりと前を向いて自分の道を進んでいきます。」と力強く語ってくれました。

式後はクラスに戻り、最後のHRが行われ、担任からの最後の話がありました。

卒業した諸君らの今後の活躍を期待しています。



薬物乱用防止講演

2月にも実施しましたが、2年生は修学旅行中だったので、あらためて新宮保健所の担当者から講演を頂きました。2月の講演のあとの感想と同じく、今回の講演後の感想にも、薬物乱用の恐ろしさについて書かれています。その中に、「自分にはないと決めつけず、きちんとこういう話を聞いたりして学ぶのが大事だと思った。」と書いたものがありました。まさにこのとおりだと思います。



薬物だけでなく、「ダメなものダメ」という規範意識を、持ち続けて下さい。

4月行事予定

4月	5日(水)	離任式	(定刻に体育館集合)
	10日(月)	始業式	(定刻に旧HR集合)
	11日(火)	特別時間割	で授業開始
	12日(水)	身体計測	個人写真撮影
	28日(金)	E S D体験学習	

2年生進路ガイダンス

2年生を対象に、16日(木)に体育館で実施しました。最初に全体会で、進学にかかる費用や学部学科の学習内容、適性、就職状況等について話をききました。その後の分科会では16のブースを作り、各自で興味のあるものを選んで、担当者から話を伺いました。以下は、受後の感想です。

「今回の説明を聞いて、複数の学校を調べて候補を挙げないと行けないと思った。」、「色々な学校の話聞いて、視野が広がった気がした。」、「自分の学びたいことをしっかりと考えて、どの学校が自分に合うか見極めようと思った。」

なりたいた自分になるために、これからも努力を積み重ねて下さい。



読み語りボランティア

3月14日、古座校舎3名(2年大芝さん、北川さん、1年出口琴子さん)と串本校舎2名の生徒が、「よみかたりボランティア」として、下里小の3・4年生対象に絵本の読み聞かせをしてきました。彼女らは、昨年夏に絵本の読み聞かせをしてきた養成講座を受講し、よみかたりの技術を身につけています。



今回、下里小学校から依頼があり、生徒たちで絵本の選定から読みの順番・構成などを相談しながら実施内容を決定し、初めにボランティアにのぞみました。小学生たちも真剣に聞き入ったり、楽しそうに笑ったりしてくれていました。

救急救命講習

23日(木)に古座消防署の方を講師として、救急救命講習会を行いました。心臓マッサージや人工呼吸の方法や自動体外式除細動器(AED)の使い方を学びましたが、何れも実践的なものでした。教員対象の講習会は何度も行っていますが、生徒対象の講習は初めてです。その時は、いつ来るかわかりません。また災害発生時にも、この技能は活かされます。みんな真剣に、講習に取り組んでいました。



編集後記

マンスリータイムスを毎月発行してきましたが、今年度はこれが最後となります。1年間、ありがとうございました。なお、過去5年分のマンスリーをHPにアップしています。あわせて、ご覧下さい。